

事前評価個表

整理番号	15
------	----

地域（地区）名	いぼがわ 揖保川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	兵庫県	対象市町村	しろうし 宍粟市ほか10市町
事業実施期間	H31 ～ H35 （5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、兵庫県南西部に位置する中播磨、西播磨地域の5市6町で、県土総面積の29%を占めている。</p> <p>本地区の森林面積は181千ha、対象民有林は164千ha（森林全体の91%）、うちスギ・ヒノキを主体とする人工林は82千ha（人工林率50%）となっており、県平均の人工林率42%を上回っている。</p> <p>人工林の齢級別構成はⅢ齢級以上のスギ・ヒノキ林等の面積が83%を占めており、宍粟市や神河町など、県内の代表的な林業地域を含むため、伐採等による林業生産活動と資源循環型林業による健全な森林を育成することが求められる地域となっている。また、二酸化炭素の吸収源や生物多様性の保全等の公益的な多面的機能を高度に発揮する多様な森林を育成することも求められる地域となっている。</p> <p>しかしながら、林業経営の収益性の悪化等により、間伐等の森林の適正管理が困難となっており、平成30年7月豪雨では本地区北部地域で土石流災害が発生するなど、多面的機能の低下が危惧されている。</p> <p>このため、森林整備の基盤となる林業専用道の整備や森林整備の担い手となる林業事業体の育成と併せて、水源涵養機能や土砂流出防止機能等の森林の有する多面的機能の維持・増進を図るため揖保川地域森林環境保全整備事業計画を作成し、搬出間伐や再造林等の森林整備を一体的・計画的に実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：6,370ha 人工造林、下刈り、保育間伐、間伐等</p> <p>路網整備：3,100m 林業専用道</p> <p>総事業費：7,068,373千円（税抜き 6,544,790千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C = 2.74 （総便益（B）= 24,400,269千円、総費用（C）= 8,910,150千円）</p>
評価結果	<p>必要性：近年の豪雨による山地災害の発生現状から、森林の多面的機能の維持・向上を目的とした間伐等の適切な森林整備が求められる地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：森林整備の基盤となる林業専用道の整備や森林整備の担い手となる林業事業体の育成と併せて、水源涵養機能や土砂流出防止機能等の森林の有する多面的機能の維持・増進を推進する事業であり、有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

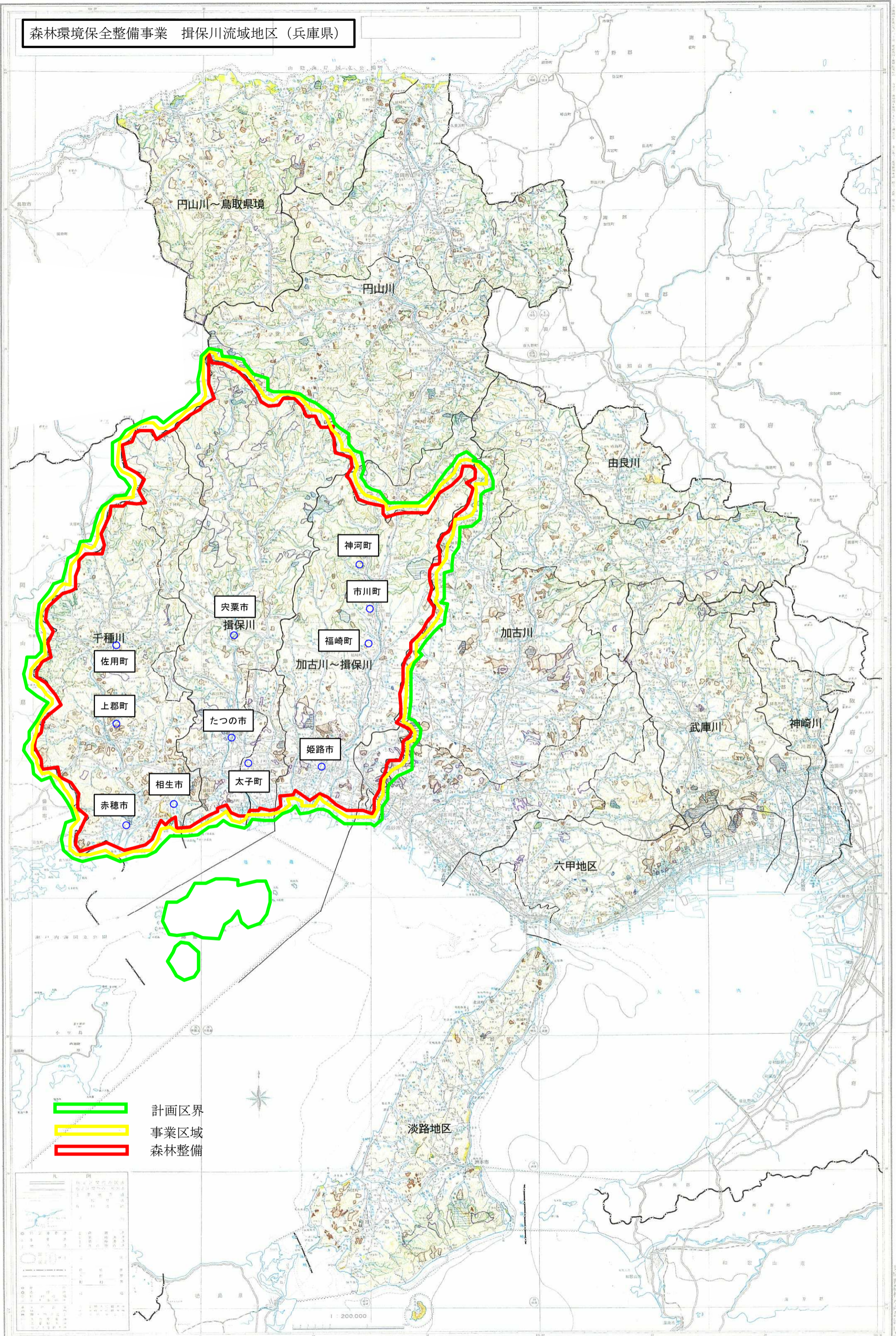
都道府県名: 兵庫県

地域(地区)名: 揖保川^{いほがわ}

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	4,260,975	
	流域貯水便益	1,132,728	
	水質浄化便益	3,962,135	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,544,198	
環境保全便益	炭素固定便益	7,208,143	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	2,001	
	木材利用増進便益	1,950	
	木材生産確保・増進便益	3,678,590	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	106	
	森林管理等経費縮減便益	912	
	森林整備促進便益	608,531	
総 便 益 (B)		24,400,269	
総 費 用 (C)		8,910,150	
費用便益比	$B \div C = \frac{24,400,269}{8,910,150} = 2.74$		

森林環境保全整備事業 揖保川流域地区（兵庫県）



- 計画区界
- 事業区域
- 森林整備

1 : 200,000